

# 【元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略】

## ●施策4-1の代表指標

### ①脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率

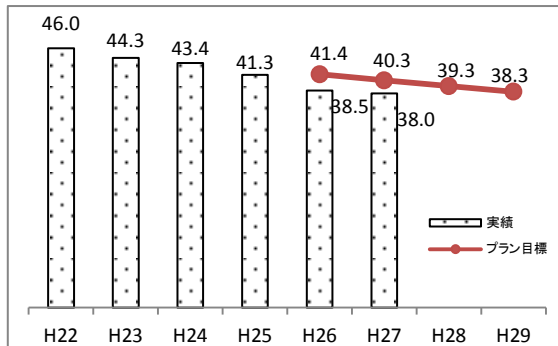
#### ■年度別目標

H27達成率(106.1%)

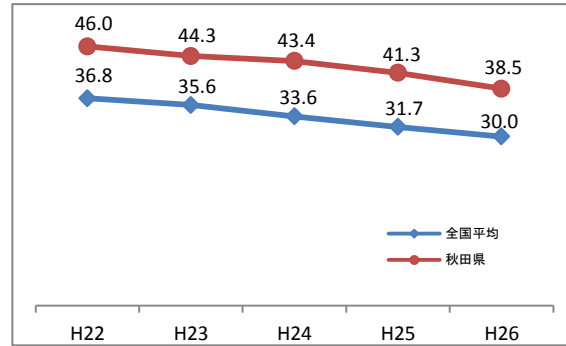
(単位:人口10万対)

	基準値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	43.4	41.4	40.3	39.3	38.3
実績値		38.5	38.0	—	—

#### 代表指標の推移



#### (参考)全国平均との比較



### ②がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率

#### ■年度別目標

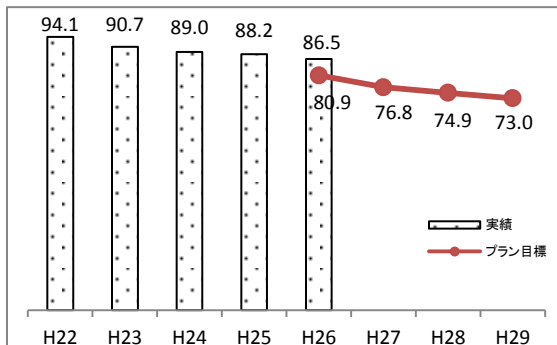
H26達成率(93.5%)

(単位:人口10万対)

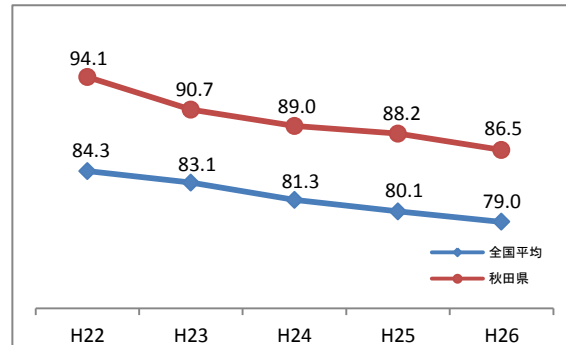
	基準値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	89.0	80.9	76.8	74.9	73.0
実績値		86.5	—	—	—

※年齢調整死亡率については未公表のため、H26実績

#### 代表指標の推移



#### (参考)全国平均との比較



## 代表指標の達成度に関する分析

### 【代表指標①】脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率

・生活習慣病の実態について県民の理解を深めるとともに、減塩やバランスの取れた食生活の推進、運動習慣の定着、適正飲酒等の生活習慣の改善について普及啓発の取組を推進してきた結果、平成25年度は41.3、平成26年度は38.5、平成27年度は38.0(概数)と順調に減少傾向を示しており、目標値以上に低下している。

### 【代表指標②】がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率

・市町村におけるコール・リコールの取組の推進や胃がん検診無料クーポン券の配付、マスコミ等と連携した啓発イベントの開催などによるがん検診受診率向上対策、がん拠点病院等の機能の充実やがん相談支援センターの連携強化による質の高いがん医療の提供体制の整備などを進めてきた結果、がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率は平成25年度は88.2、平成26年度は86.5となっており、目標値に達していないものの少しずつ低下してきている。ただし、平成26年度の都道府県別順位は4位と高い状況にあるため、更に取組を進めていく必要がある。

# 【元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略】

## ● 施策4-2の代表指標

### ① 病院の勤務医師数

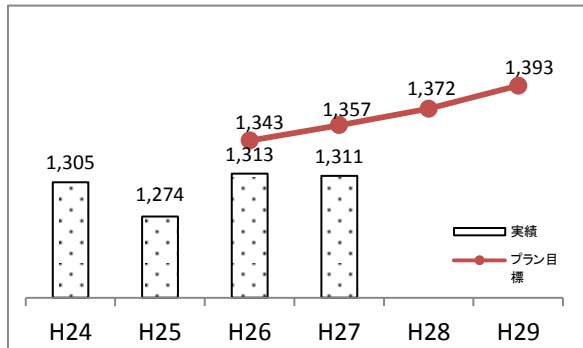
#### ■ 年度別目標

H27達成率(96.6%)

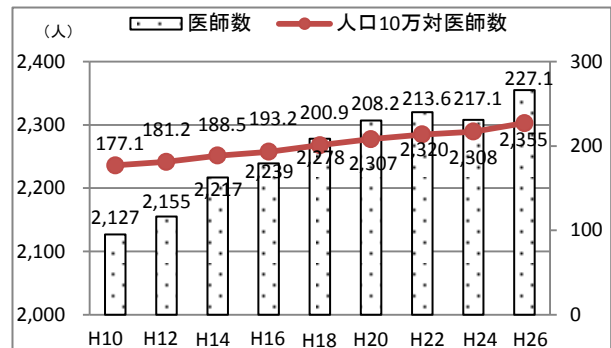
(単位:人)

	基準値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	1,305	1,343	1,357	1,372	1,393
実績値		1,313	1,311	—	—

代表指標の推移



(参考)秋田県における医師数・人口10万対医師数の推移



### 代表指標の達成度に関する分析

・平成27年度の県内病院の勤務医師数(常勤医師数と非常勤医師の常勤換算数の合計)は、平成26年度から2人減少して1,311人となっており、達成率も1.2ポイント悪化して96.6%となった。平成26年度及び27年度中に2つの病院が廃止となり、医師数の大きな減少が懸念された中、これまで実施してきた「一定期間県内病院での勤務を義務付けた修学資金の貸与」、「初期臨床研修体制の充実」、「医師の勤務環境改善」などの取組の成果もあって、県内病院全体で2人の減少にとどまったところである。

・二次医療圏毎の状況では、医師数は「大館・鹿角」、「北秋田」、「能代・山本」、「秋田周辺」の4医療圏で前年度から増加した。計画達成率は「大館・鹿角」、「北秋田」、「能代・山本」の3医療圏で前年度から上昇したが、計画達成率が100%を超えているのは「秋田周辺」の1医療圏のみであり、依然として医師の地域偏在が認められる。

# 【元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略】

## ●施策4-4の代表指標

### ①自殺による人口10万人当たり死亡率

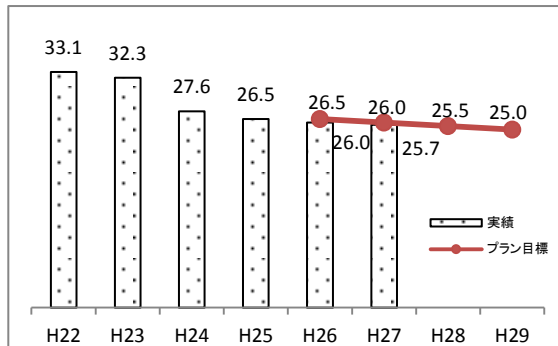
#### ■年度別目標

H27達成率(101.2%)

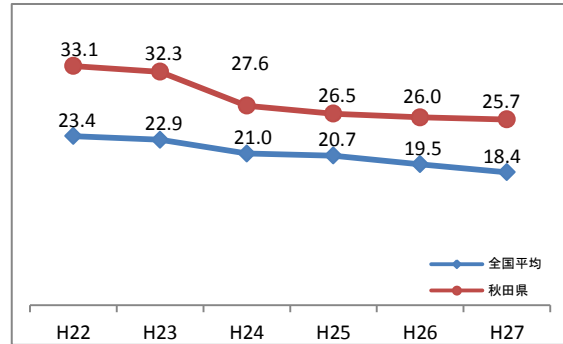
(単位:人口10万対)

	基準値(H24)	H26	H27	H28	H29
目標値	27.6	26.5	26.0	25.5	25.0
実績値		26.0	25.7	—	—

#### 代表指標の推移



#### (参考)全国平均との比較



### 代表指標の達成度に関する分析

・人口10万人当たりの自殺死亡率は6年連続で減少しており、平成27年で25.7と、基準値である平成24年の93%となっている。しかしながら、人口減少の影響等もあり全国平均に比べ本県の減少割合は低く、その結果、平成27年の実績(概数)では再び全国最下位となった。

・自殺死亡率減少の要因としては、「秋田ふきのとう県民運動実行委員会」によるキャンペーン、県広報紙等を活用した各種相談機関の周知、あきたいのちのケアセンターによる相談の実施(H27:1,235件)、民間ボランティア等の人材養成、相談員や医師等へのうつ病への対応研修、保健所単位での自殺未遂者対策の実施等のほか、民間団体や市町村、大学による取組など、県民一丸となった自殺予防対策によるものと考えられる。